

令和3年7月には、かつての堀川の水辺に思いを寄せると、水辺には縁があることから、京都に所縁のあるキクタニギクを市民花壇と雨庭に植付けました。植付けに関しては、事前にキクタニギクの特徴、植付け方、管理の方法等を学びました。植え付けたキクタニギクは順調に根付き、秋になると見事に花を咲かせ堀川通に彩りをそえました。

柴田会長は、「堀川通を歩く人に花とみどりを楽しんでもらい、さらに木陰を感じられる通りにしたいです。また、他団体との協同作業など、活動の輪を広げ、歩道を活用したイベントなどを計画しています。新規会員も募集していますので、ぜひご参加ください」と今後の活動についての思いを語ってくれました。みどりをいかした通りにするためには利用する人々が意識を向け、積極的に維持管理関わることが必要となります。歩いて楽しいみどり豊かな堀川通の実現を目指してこれからも活動に取り組まれます。



キクタニギクの植付け講習会



大蛇ヶ池公園 ペンキで魅力向上！プロジェクトの御紹介



西京区洛西ニュータウン内に位置する大蛇ヶ池公園には大きな池があり、周囲に約210mの転落防止柵があります。この度大蛇ヶ池公園愛護協力会と京都府立洛西高等学校の生徒が連携して、老朽化した柵のペイントを塗り直す活動が行われましたので、その様子を御紹介します。

地域ボランティアと高校生 公園をもう一歩きれいに

大蛇ヶ池公園愛護協力会では、平成20年から地域在住のボランティアを中心に、大蛇ヶ池公園の毎日の清掃活動等を実施されています。

洛西高校では、平成30年度に生徒が「自分たちの生きる地域、社会を再発見し、再創造、再構築を目指す」ことを目的として、「洛再 Links（リンクス）」というプロジェクトを立ち上げ、地域とつながる活動を行っています。立ち上げ時から大蛇ヶ池公園愛護協力会と月に1回、公園の清掃活動に共に取り組んできました。

令和3年7月からは、愛護協力会と洛西高校の協働による「大蛇ヶ池公園 ペンキで魅力向上！プロジェクト」が始まりました。



手すりのペイントを塗り直す
洛西高校の皆さん

4回目の作業日の同年12月11日には、愛護協力会から8名、洛西高校から1年生22名、教員4名が参加。紙やすりでさびや汚れを落とした後にハケやローラーを使い茶色のペンキを塗りました。

参加した生徒の皆さんの中には前回からの参加者も多く、「おなかにペンキがつくので裏側から塗るのがコツです。柵の間からローラーを入れて裏側を塗ると作業しやすいです」と慣れた手つきでペンキ塗りを進めてされました。公園愛護協力会の岩倉紘一會長は「高校生のパワーはとても助かります。お話ししながらの作業がにぎやかで楽しく感じます」と、高校生との共同作業も公園愛護活動の楽しみの一つとなっています。



ペンキが剥げ落ち
サビが目立つ



塗り直してきれいに！

未来を見据えた公園づくりを



1時間ほど作業を続けるときれいな柵に生まれ変わり、明るい空間となりました。岩倉会長は「洛再Linksは大変素晴らしい活動だと感謝しています。地域を良く知り、地域と繋がろうと元気一杯に実践されている事に敬意を表します」と高校生の活躍を頼もしく感じられています。

このような活動を続けていくことで地域の輪が広がり、安心して利用できる公園づくりにつながっています。ペンキプロジェクトに協力している西京区役所洛西支所は「この取組により高校生の地域愛を深め、次世代のまちづくりの担い手を育成していく、更には、地域住民の力で公園の景観を向上させることで、まちの魅力を高めていきたいです」と期待しています。

道路や公園等の
損傷箇所
投稿アプリ



みっけ隊アプリをダウンロード!!

みっけ隊 で検索！

みっけ隊ホームページ

<https://mikketai.city.kyoto.lg.jp>

ANDROID APP ON
Google play

Available on the
App Store



「新しい生活様式」
を心がけて公園を
使おう！
～4つのポイント～



体調が悪いときは
利用を控える



時間・場所を選び
ゆすりあおう



人と人との
あいだをあけよう



こまめに
手洗いしよう



- ・大人数や長時間の飲食や、飲酒を伴う集まりは控え、会話のときはマスクをしましょう。
- ・新型コロナウィルス感染症の拡大を防ぐためには、体を動かしたり、屋外でリフレッシュし、心と体の健康を保つことも大切です。マナーと思いやりを大切に身近な公園を利用しましょう。

出典：国土交通省作成「新しい生活様式」を踏まえた公園利用のポイント（2021年4月26日版）